

# 簡単ガイド

ビューワー “Smart Client” でのライブ映像や記録映像の見かたなど、基本的な操作方法について説明しています。さらに詳しい操作や設定方法は、ネットワークビデオレコーダー VR-X8500 に付属の『取扱説明書（操作・設定編）』をご覧ください。

## Smart Client の起動方法と画面の見かた

VR-X8500 またはパソコンにインストールされているビューワー “Smart Client” を起動します。デスクトップ上のアイコンは “XProtect Smart Client 2020 R3 (64bit)” と表示されます。本書では “Smart Client” と表記します。

- 1 アイコンをダブルクリック**  
XProtect Smart Client のアイコンをダブルクリックします。
- 2 ユーザー名、パスワードを入力**  
※ログイン方法について詳しくは、システムの管理者にご確認ください。
- 3 [接続] をクリック**  
Smart Client が起動します。

### 画面切替タブ

**[ライブ] :**  
カメラのライブ映像画面を表示します。

**[再生] :**  
HDD に記録された映像の再生画面を表示します。

**[検索] :**  
特定の時間やイベントでまとめた映像の一覧から再生する画面を検索できます。

**[アラームマネージャ] :**  
アラームマネージャを表示します。※システムの設定によっては表示されません。

### 操作パネル

表示している画面のさまざまな機能が表示されます。画面によって操作パネルの表示内容は異なります。

### 【設定】

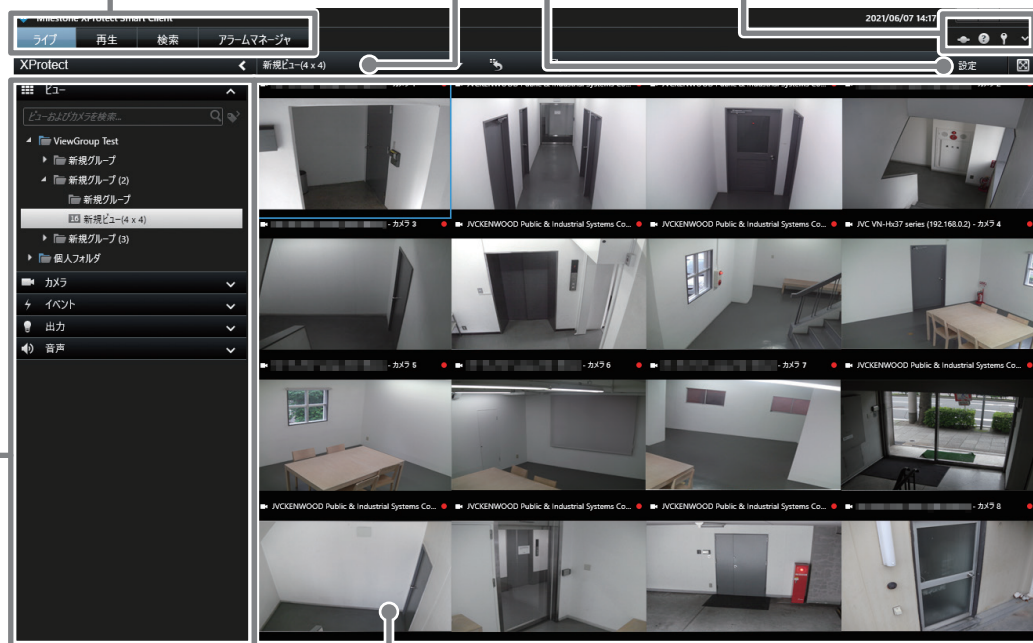
Smart Client の設定画面を表示します。

### ビューリスト

ビューを切り替えます。

### 【ステータス】【ヘルプ】【ログアウト】【メニュー】

接続しているサーバーの状態や Smart Client のヘルプ、オプション設定を表示します。また、Smart Client の表示モードを切り替えます。初回起動時は簡単モードで表示されます。※本書では詳細モードの操作方法について説明します。

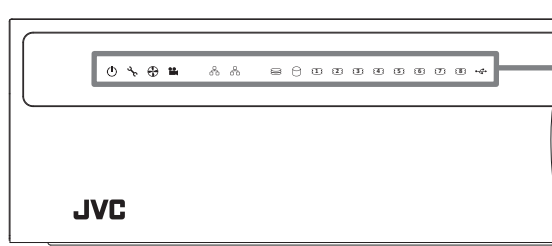


カメラ映像

ビュー

複数のカメラからの映像を分割表示します。

## フロントパネル LED 表示



### システムステータス

システムの状態を表示します。重大な問題（ハードディスクドライブ（論理ドライブ）オフライン、ファン故障、範囲外の電圧、システム過熱警告）が発生すると赤く点灯します。



### ファンステータス

ファンの状態を表示します。



### RAID ステータス

RAID の状態を表示します。



### HDD ステータス

各ハードディスクドライブの状態を表示します。

# カメラのライブ映像画面を見る

ビューワー “Smart Client” を使って、カメラが現在撮影している映像（ライブ映像）を表示します。

## 1 【ライブ】 をクリック

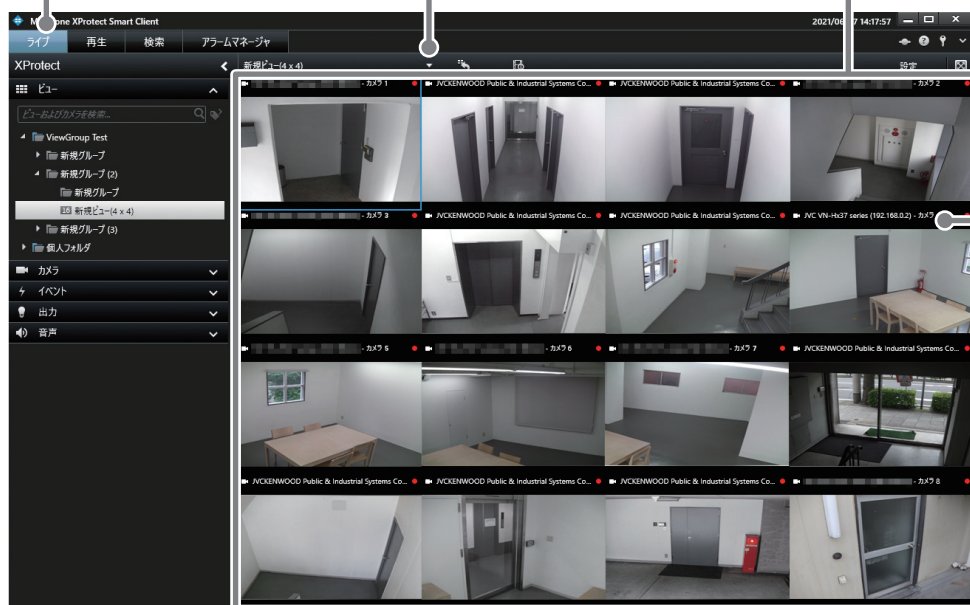
ライブ映像画面を表示します。

## 2 ビューを選択

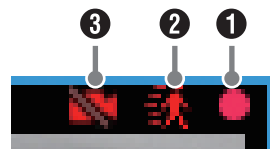
グループに登録されているビューを選択します。

## 3 ライブ映像を見る

ビューに登録されているカメラの映像が表示されます。



### カメラの状態



#### 1 カメラの動作状態

- (緑色)  
カメラ映像を記録せずに表示しています。
- (赤色)  
カメラ映像を記録しています。
- カメラからの映像が取得できていません。
- 録画されたビデオを再生しています。  
(独立再生時)

#### 2 モーションインジケータ

- モーションが検知された場合に点灯します。

#### 3 サーバー接続状態

- カメラとサーバーとの接続が切断されています。

## カメラの操作ボタンやツールバーを使う

カメラ映像の上にマウスカーソルを移動すると、PTZ 操作ボタン、オーバーレイボタン、ツールバーが表示されます。



#### 1 PTZ (パン・チルト・ズーム) 操作ボタン

- 矢印のボタンをクリックすると、その方向に映像が動きます。  
+、- をクリックするとズームします。  
🏠 をクリックすると、映像がホームポジションに戻ります。

#### 2 オーバーレイボタン

- クリックすると、登録された機能呼び出します。  
ボタンの表示 (機能) はカメラによって異なります。

#### 3 カメラツールバー

- 🔍 : 検索画面に移動します。
- 🔄 : 選択しているカメラだけ、記録映像を再生します。
- 📷 : 選択しているカメラ映像の静止画像を保存します。
- 🖨 : カメラの記録映像を印刷します。
- 📋 : 選択しているカメラ映像の静止画像をクリップボードにコピーします。
- 🕒 : 選択しているカメラ映像を一定時間録画します。  
録画時間はあらかじめ設定されています。  
クリックすると赤色に変わり、録画を開始します。  
一定時間が経過するか、再度クリックすると録画を停止します。
- 📍 : PTZ カメラをプリセット位置に移動します。

#### 4 [詳細] カメラの操作オプションが表示されます。

# 記録された映像を再生する

ビューワー “Smart Client” でネットワークビデオレコーダーに記録されたカメラの映像を再生します。

## 1 [再生] をクリック

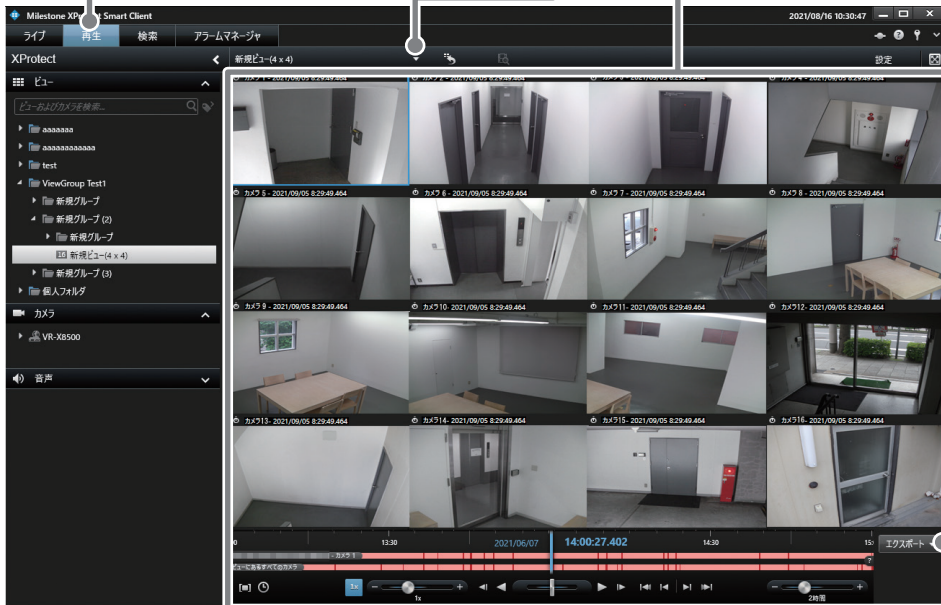
再生画面を表示します。

## 2 ビューを選択

グループに登録されているビューを選択します。

## 3 記録映像を見る

ビューに登録されているカメラの記録映像が再生されます。

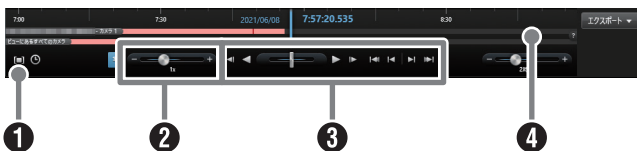


### [エクスポート]

記録された映像を USB フラッシュメモリなどに保存（エクスポート）します。  
(4 ページをご覧ください。)

## 再生速度や時間を変更する

再生画面の下に表示されているボタンやバーで、再生速度の変更やコマ送りなどができます。



### 1 時間選択モード

クリックすると、タイムラインにインジケータが表示され、エクスポートする時間を指定できます。  
(4 ページをご覧ください。)

### 2 再生速度スライダー

ドラッグして左右に動かすと、再生速度が変更できます。

### 3 再生ボタン／ナビゲーションボタン

- ◀▶ : コマ戻し／コマ送り
- ◀▶|| : 逆再生／再生／一時停止
- ◀▶▶ : 前の画像へ移動／次の画像へ移動
- ◀▶▶▶ : 先頭の画像へ移動／最後尾の画像へ移動

### 4 タイムライン

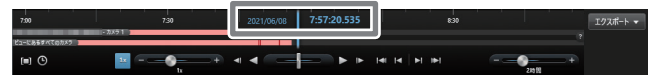
ドラッグして左右に動かすと、時間をさかのぼったり、先に進めることができます。

※ このほかの操作方法については、VR-X8500 に付属の『取扱説明書（操作・設定編）』をご覧ください。

## 再生する日時を指定する

特定の時間帯の映像を再生したい場合など、日時を指定して映像を再生できます。

### 1 タイムライン上の再生の日付または時刻をクリックする



### 2 日付と時刻を指定して [移動] をクリックする

指定した日時の映像がビューに表示されます。



### ■ その他の指定方法

日時のほかに、次のような指定方法があります。詳しくは、VR-X8500 に付属の『取扱説明書（操作・設定編）』をご覧ください。

- 記録の有無でさがす
- 記録画像のまとまり（シーケンス）からさがす
- 特定のエリアの映像の変化でさがす（スマートサーチ）



# 記録された映像を USB フラッシュメモリーに保存する

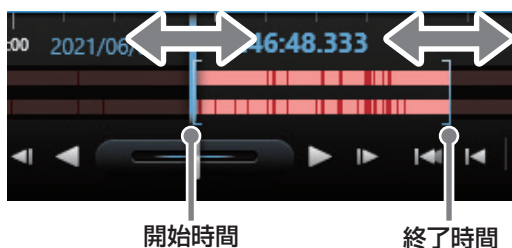
ネットワークビデオレコーダーに記録されたカメラの映像を他のパソコンで再生できるように、USB フラッシュメモリーなどに保存（エクスポート）します。

## 1 再生画面を表示してビューを選択

保存（エクスポート）は再生画面で行います。  
（再生画面については 3 ページをご覧ください。）

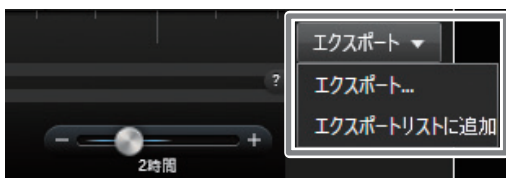
## 2 [時間選択モード] をクリックして 時間を選択

タイムライン上のインジケータをドラッグして、  
保存する映像の開始時間と終了時間を指定します。



## 3 [エクスポート...] をクリック

エクスポート設定画面が表示されます。



## 4 エクスポートの設定

ファイル名やフォーマットなどを設定します。

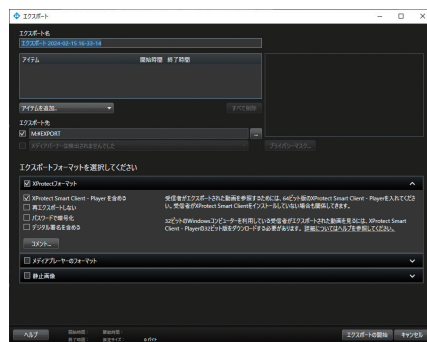
## 5 [エクスポートの開始] をクリック

エクスポートが開始されます。

## エクスポートの設定

### ご注意

- 本機で録画データをエクスポートする際は、「エクスポート先」には C ドライブ以外を指定してください。C ドライブの空き容量が不足すると、本機が正常に動作しなくなる場合があります。



### エクスポート名：

保存（エクスポート）するファイル名を入力します。

### エクスポート先：

USB フラッシュメモリーの保存先を指定します。

[-] ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」画面が表示されます。VR-X8500 に接続した USB フラッシュメモリーのドライブを選択できます。

### アイテムを追加：

ツリーから保存するカメラをクリックします。

### エクスポートフォーマットの選択：

保存するファイルのフォーマットを選択します。

- XProtect フォーマット  
Milestone XProtect フォーマットで保存します。  
ビューワー "Smart Client" と同じような画面で再生や操作ができます。
- メディアプレーヤーのフォーマット  
一般的なパソコンのメディアプレーヤーで再生できる動画形式で保存します。
- 静止画像  
静止画を保存します。

## ■ XProtect フォーマットで保存したときは

保存したフォルダに含まれている

「SmartClient-Player.exe」をダブルクリックして再生します。



SmartClient-  
Player.exe

※ 「XProtect フォーマット」を選択し、  
「XProtect Smart Client - Player を含める」  
にチェックを付けた場合のみ。

## JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話 0120-2727-87

携帯電話 0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>